



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

RIテーマ「奉仕を通じて平和を」Peace Through Service

2012-13年度 RI会長／田中作次 RI.D2590ガバナー／露木雄二 横浜旭RC会長／山崎良三

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F
TEL.045-365-3273
FAX.045-365-3132
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



2012年11月28日 第2082回例会 VOL. 44 No. 21

- 司 会 副 SAA 増田嘉一郎
- 開会点鐘 会長 EL 安藤 公一
- 斉 唱 それでこそロータリー
SL 齋藤 善孝

■出席報告

会 員 数	35名	本日の出席数	23名
本日の出席率	82.14%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

漆原、小嶋、佐藤、福村、山崎

■他クラブ出席者

増田（銀座新 RC）、新川、山崎（地区）

■会長報告

次年度理事候補者を発表致します。

青木 邦弘、安藤 公一、千葉 和裕、
増田嘉一郎、新川 尚、太田 勝典、
田川 富男、漆原恵利子、山崎 良三

（敬称略）

■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○横浜緑ロータリークラブ

日時 12月19日(水)夜間移動例会

クリスマス家族会

点鐘 午後6時30分

場所 新横浜国際ホテル南館ブループラム

日時 12月26日(水)休会

日時 1月2日(水)休会

日時 1月30日(水)夜間移動例会

8クラブ合同例会に振替

場所 新横浜国際ホテル

○神奈川東ロータリークラブ

日時 12月21日(金)→23日(日)移動例会

年忘れ家族会

日時 12月28日(金)休会

日時 1月4日(金)休会

2) 神奈川ロータリークラブより卓話の案内

日時 12月3日(月) 点鐘12時30分

場所 ホテルキャメロットジャパン

5階ジュビリー

卓話者 北尾 俊雄様

（日本腎臓財団常務知事）

演題

「知っていそうで知らないノーベル賞の話」

* 準備の都合、ご出席の方は事務局まで連絡

TEL 045-313-3652

■2012～13年度第2590地区IMのお知らせ

安藤 公一

11/27、新横浜グレースホテルにて第1回IM総務委員会が開催され出席してきました。

平成25年3月7日(火)に前回と同じ鶴見区民文化センターサルビアホールにて開催予定。横浜北RCがホストクラブです。IMの概要説明と内容について質疑応答があり、第4グループ、第5グループの17クラブの代表が集まりました。大まかなスケジュールは以下の通りです。

開催日 2013年3月7日
会場 鶴見文化センターサルビアホール
12:00 登録開始
13:00 開会式
13:30 第1部
各クラブの東日本大震災への支援事業
についての報告 90分
15:00 休憩
15:30 第2部
紺野美沙子(女優)と
中村由利子(ピアニスト)
による朗読劇 90分
17:00 閉会式
17:30 第3部 懇親会

実行委員会からは、平日の午後の開催で集客が懸念され、各クラブからの多数の動員を要請されました。

参加クラブからは

- ・17クラブ全部が90分で発表となると各クラブ5-6分しか時間がなく十分な説明ができない。よって延長希望クラブは実行委員会にその旨を事前に申入れて欲しいとの回答。
- ・支援物資、寄付だけを行ったところは1分で済んでしまう。
- ・インターアクトを現地に派遣させたが、被災地のインターアクトと交流させ、ボランティア活動にも参加させたが、テーマ毎に発表を絞ってはどうか。

等々の話ができました。

前回ホストクラブとして一般聴衆者への対応、リスク管理等も考慮さねばならない点を指摘したところ、そこまで考えていなかった、今後は前クラブのお知恵を拝借したいので、前回の資料を、実行委員会宛に送って欲しい旨の要請を受けたので、了承し送る事にしました。

次回開催は1月下旬とのことです。

■雑誌委員会 田川 富男
ロータリーの友11月号の紹介

○横組み

先日14日社会員のロータリー財団の説明された通りですが、今月号で世界でロータリー財団活動が紹介されており、田中作次RI会長が「ロータリーの土台」とメッセージを寄せております。

○縦組み

俳壇にて当クラブ吉原会員の俳句が紹介されております。

「タイ国の姉妹輪の内盆踊」

皆様ふるって投稿下さい。

■情報集会報告

Bグループ報告 齋藤 善孝

日時 10月18日(木)

場所 謝朋殿

関口さん、佐藤さんそして私の3名の参加でちょっと淋しい集会でしたが、美味しい紹興酒を飲みながら建設的な意見を述べていただき有意義な集いになりました。

1) 会員増強対策について

当クラブの年齢構成からみて、若い人を入会させないと先細りになってしまう。年配者は若い人との付き合いが少ないので、若い会員が中心となって友人、知人を勧誘してもらったらどうか。

2) 体験例会をよりよくするには

たまに実施することはいいと思うが、それよりも趣味的な催し、たとえばゴルフ、一杯飲み会を開いて親睦をはかりそれから勧誘していくのもいいのではないか。

3) その他

クラブの活性化のためには、女性会員を増やしていったら良い。

■ニコニコBOX(会員敬称略)

青木 邦弘/先日は共にひどい目にあいましたが、今日は卓話楽しみにしています。

松本 英二/昨日女の子が生まれました。母子ともに元気でした。感謝です。

内田 敏/つたない卓話をさせていただきます。我慢して聞いて下さい。スクリーンと話が一致するか心配です。

千葉 和裕/①内田さん、マイクのボリューム下げて卓話お願いします。②大谷さん、お久しぶりです。地区より長寿会員表彰ができています。③松本さん、4人目お子さんの誕生おめでとうございます。

後藤 英則/①内田さん、卓話楽しみにしています。②松本さん、赤ちゃん誕生おめでとう。

田川 富男/内田さん、卓話よろしくお願ひします。楽しみにしています。

太田 勝典／内田さん、卓話楽しみです。
新川 尚／内田さん、卓話宜しくお願いします。

綿貫 守一／内田さんの卓話たのしみです。
よろしく願い致します。

倉本 宏昭／①松本さん3女誕生おめでとうございます。日本経済発展のためには将来を担う若者が大勢いなければ、これからもがんばって下さい。②内田さん今日は何の話かな？

安藤 公一／①内田さん、卓話楽しみです。宜しくお願いします②来る12月2日に大学ラグビー早稲田 VS 明治の対抗戦が開催されます。NHKでも放送がありますので、応援宜しくお願いします。

吉原 則光／今日は本格的な冬日の例会となりました。内田さんの卓話楽しみにしております。

■卓話「宮古島の話」

内田 敏



○宮古島概要

1) 宮古島は、宮古島・池間島・伊良部島・下地島・多良間島・水納島・来間島・大神島の8mの島からなっている。面積は204.57km²、耕地面積約52% (10,900ha)

2) 宮古諸島の地層は、琉球石灰岩、サンゴ礁が隆起して出来た島で、島全体が平坦で、最も高い山はナカオ嶺 (113m)。宮古島は、東京の南西およそ2,000km。沖縄本島から南西303km。羽田から直行便で約3時間。宮古島には川がなく、ハブもいません。

3) 宮古島市は、2005年(平成17年10月)平良市、城辺町、伊良部町、上野村が合併して宮古島市となる。人口は約55,000人、年間旅行者約40万人。

4) 気候は、年間平均気温23.6度、平均湿度



77%、平均降雨量2,021mmで、高温多湿の亜熱帯海洋性気候。

5) 宮古島は渡り鳥の中継地点～サシバ、アカハラダカ等、台風や季節風によって東南アジア、中国大陸からの迷い鳥が多い。ナベツル、アカイシガモ、ハイイロペリカン等

○宮古島との出会い

妻と娘が5回程宮古島へ旅行に行き、青い空と海、そして人々のやさしさに触れ感動し、私も妻と二人で行き、まばゆいばかりの海と空、花、空気が清んでいる素晴らしい島。この様な所に住めたらと二人の思いが一致。帰るまでに2日程あったこともあり、公設市場へ買い物に行き、そこでなんとなく土地の話ががで、公設市場のおばさんたちが土地のことなら…不動産が親切と紹介を受け訪ねたところ、早速丘高い海の見える所を案内してくれ、そこに家を建てて早7年になります。

○二人の夫人との出会い

家を建ててまもなく、妻が庭いじりをしていると、隣の丘で二人のご夫人が何かをして

いるので様子をうかがうと、丘くらげを取っていると事、そんなきっかけからこの二人（まさよさん、はま子さん）と親しくなりました。

ここでまさよさんについてご紹介します。まさよさんご夫婦に、昭和56年11月に第1子として生まれた子は、脳性小児麻痺でした。どの医学書を開いても短命、担当医からは「長くて5年位」と言われたそうです。

ご夫婦は一日でも長く家族でいてほしいという願いから、良い病院があると聞けば「大和の病院、沖縄の病院」と出かけたそうです。しかし、どの医者からも、この病気は治らないと云う答だけだったそうです。しかしながら、御夫婦の願いが幸いし、この子は今も健在で31歳になっております。

まさよさんは、重度の障害者の為の施設を作ってほしく、行政機関、大学の先生、養護学校の先生方の協力を得て、心身障害者を守る会を立ち上げ、特別枠で宮古初の在宅支援施設「なんくる作業所」の発足のこぎ着け、その代表を務めております。

その後NPO法人の100万円の寄付を受け、障害者の夢をかなえようと、病院の看護師さんの付き添いのもと、東京ディズニーランドへ2泊3日の旅行を実現しました。子ども達は、これまで夢にみたミッキーに実際に逢えることができ、涙を流し、一生の思い出となったそうです。

この事は宮古や沖縄の新聞に大きく取り上げられました。すべてが初めての事で、大変はご苦労だったと思います。その後も素晴らしい功績をおさめられ、今も障害者の為ががんばっている姿には頭がさがります。

まさよさんは誰れをも愛し、相手の事を思い、最後まできちっと答えを出してくれて宮古島の人気者です。私達もまさよさんと逢う事が出来たこと、心から感謝しております。出来ればこれから宮古島に行く機会を多くしていきたいです。

良く聞く言葉で、「この島は聖地（いやしの島）で有る」という人が多いですが、海や空、環境だけでなく、生かされている全ての物に、心ゆるやかに時間の過ぎていく、全てが聖地（いやし）であると思います。

又、島の人々は神仏の御加護をよく信じて

います。

○うえのドイツ文化村

1873年（明治6年）7月12日ドイツの商船RJロベルトソン号が航行中に台風遭遇、上野宮国沖のリーフに座礁難破を発見した宮古の住民は一晩中たいまつで灯りで勇気づけ、乗組員を救助、一ヶ月にわたり手厚く看護して無事本国へ帰国させた。報告を受けたドイツ皇帝ウイヘルム一世は島民の博愛の心を称えるため軍艦を派遣し、宮古島に博愛記念碑を建立した。この場所は自然と調和を大切に創造したテーマパークとなっています。

○人頭税石（にんとうぜいせき）

高さ143cmの石柱「賦ばかり石」とも呼ばれていて王府時代に宮古、八重山地方に人頭税が課せられ、この石の高さになると税を課せられたという伝承があるが、近世琉球では数え15～50歳の男女に賦課されている。

○地下ダムについて

宮古島の雨量2,200mmと降水があるが、その大部分は梅雨と台風によってもたらされ、台風の少ない年は干ばつに見舞われた。特に昭和46年3/15～9/16までの185日間には降水量がわずか162mmという干ばつに見舞われ農業は壊滅的な打撃をうけた。

このように、宮古島の水事情は、サンゴ礁が隆起して出来た非常に透水性の高い琉球石灰岩からなる島のため、年間2,200mmの降水のうち、40%は土壌面から直ちに浸透して地下水となり海へ流出してしまうので、この地下水を利用するために、地下に止水壁を作る工事、つまり地下ダム工事が昭和62年に着工され、14年の歳月と約640億円を投じて平成12年に事業完了。飲料水、農業用水として使用されるようになり、農業が変化した。

生産額108億円でサトウキビ約40億円、野菜10億円、葉たばこ23億円、果実6億円、畜産23億円、その他3億円となり、地下ダムの水利用効果がありました。

■次週の卓話

・クリスマス例会

12/12(水)→12/15(土)に移動例会

週報担当 五十嵐 正